

平成 24 年 6 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 24 年 6 月 28 日 (木) 午後 2 時 40 分 ~ 午後 3 時 35 分

2. 場 所 岸和田市立公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 坂田 忠義 委員長職務代理者 毛利 高二
委員 川岸 靖代 委員 中野 俊勝 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育総務部長	板東 正人	学校教育部長	岸田 隆博
生涯学習部長	植原 和彦	理事兼生涯学習課長	森 幸子
総務課長	藤原 芳治	学校管理課長	門林 啓之介
産業高校学務課長	直 清司	学校教育課長	植田 和幸
人権教育課長	篠本 治久	スポーツ振興課長	元廣 秀晴
郷土文化室長	南 美恵子	図書館長	佐藤 正
総務課参事	大西 謙次	総務課参事	中野 忠一

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に川岸委員を指名した。
傍聴人 0 名。

報告第 30 号 幼児教育用教材の寄附について

坂田委員長

報告第 30 号幼児教育用教材の寄附については、書面での報告です。何か意見等ございましたか。

門林学校管理課長

本件は、平成 24 年 6 月 12 日に、国際ソロプチミスト岸和田様より、就学前児童の学習用に、幼児教育用教材（学習用時計）を頂いたものです。

報告第 31 号 市立産業高等学校国際交流事業について

坂田委員長

報告第 31 号市立産業高等学校国際交流事業について、事務局から説明をお願いします。

直産業高校学務課長

5月23日から5月26日の間、平成21年に姉妹校締結した、韓国の漢江メディア高等学校を訪問してきました。訪問したのは教諭2名、生徒8名(全日制7名、定時制1名)、行政1名で、交流内容は、ホスト家庭におけるホームステイ、授業交流、施設見学、文化体験、ホスト学生とのフィールドワークなどです。

中野委員

国際交流に参加された生徒たちは、韓国での学校生活、家庭生活に触れ、いい経験ができたのではないかと思います。また、自分の言葉でコミュニケーションを図るためには、語学が大事であることを痛切に感じた良い機会あったと思います。これからも国際交流についての積極的な取組みを期待します。

一つお聞きしますが、生徒の選考はどのように行なわれたのですか。

直産業高校学務課長

希望者を募り、国際交流担当の教諭による面談、作文で選考をいたしました。

帰国後には参加した生徒たちに訪問先での出来事など、感想文の提出をしてもらいました。その中には、「ホスト家庭の方々は日本語が堪能で心強かった」というような感想がありました。

報告第32号 中学生体験入学の実施について

報告第33号 産業高校市民公開講座「簿記講座3級」の実施について

報告第34号 平成24年度岸和田市水練学校の開催について

坂田委員長

報告第32号から報告第34号までの3件については、書面での報告です。何か意見等ございませんか。

中野委員

産業高校の中学生の体験入学の取組みについてですが、専門学科の学校では、入学した生徒の進路に大きな影響を与えることから、学習意欲の高い生徒の確保、不本意入学の防止という観点からとても意義のある取組みだと思います。内容の充実に向けて努力していただいていることに敬意を表したいと思います。

毛利委員長職務代理者

毎年どれくらいの参加者がいますか。

直産業高校学務課長

平成23年度が368名、平成22年度が385名でした。

中学生の体験入学の案内については、堺市以南の中学校に案内を送付しています。また、例年、秋に中学校訪問を実施していますが、今年度は6月から市内中学校への訪問を開始しており積極的にPR活動に努めています。

報告第 35 号 平成 24 年度泉南地区スポーツ推進委員協議会研修会の実施結果について

坂田委員長

報告題 35 号平成 24 年度泉南地区スポーツ推進委員協議会研修会の実施結果について、事務局から説明をお願いします。

元廣スポーツ振興課長

6 月 2 日に、泉南地区のスポーツ推進委員相互の情報交換及び生涯スポーツ等の見聞を広める研修を行なうことにより、スポーツ推進委員の資質向上を図り、各市町のスポーツ振興に寄与することを目的として研修会を実施いたしました。今年度は本市が泉南地区の会長市であることから、岸和田競輪場及び BMX コースの施設見学等を行ないました。参加者は全体で 97 名、本市からは 38 名の参加で、各市町のスポーツ推進委員の方々から大変良い経験をさせていただいたなどの声も多く、有意義な研修会を実施することができたと思っております。

報告第 36 号 平成 24 年度市民プールの開設について

報告第 37 号 平成 24 年度初心者水泳教室の開催について

報告第 38 号 展示及び研究資料の寄附について

報告第 39 号 岸和田城天守閣次期展示について

坂田委員長

報告題 36 号から報告第 39 号までの 4 件については、書面での報告です。何か意見等ございませんか。

元廣スポーツ振興課長

市民プールは数が多く、各施設の老朽化が進んでいるため開設準備に気苦労が多いですが、安全に実施できるよう努めています。

坂田委員長

プールの運営に関わるアルバイトさんへの救命救急講習会はされましたか。

元廣スポーツ振興課長

6 月 17 日に、施設管理者及びアルバイト採用者全員に消防本部の協力を得ながら、AED の操作方法等を含めた講習会を実施いたしました。AED については全てのプールに配備できております。

坂田委員長

報告は以上のようなので、次に議案に入ります。

議案第 28 号 平成 25 年度岸和田市立産業高等学校全日制入学者選別について

坂田委員長

議案第 28 号平成 25 年度岸和田市立産業高等学校全日制入学者選抜について、事務局から説明をお願いします。

直産業高校学務課長

本件は、大阪府の公立高等学校選抜方法が改定されることから、岸和田市立産業高等学校の全日制入学者選抜について改定をお願いするものです。大阪府においては、わかりやすい制度にするとともに、学校選択の機会の公平性を改善することにより、中学生にとって公立高等学校がより一層選びやすくなることを目的として改定されたものです。

具体的には、前期入学者選抜については、3教科の学力検査に合わせて、受験者の能力・適性や意欲を見極めることができるよう小論文、情報活用力検査、面接、実技検査のうち1種類を課すこと、またこれまで後期選抜だけで選抜を実施していた昼間の高校について、募集人員のうち2学級(80名)を前期で分割募集するとしたことです。

このことを受け、本市産業高校では、商業科、情報科では3教科の学力検査に加えて小論文を課すこととし、デザインシステム科では3教科の学力検査に加えて、実技検査の配点を80点から100点に変更したいものです。

永本教育長

選抜方法については、大阪府からも全般的に合わせてほしいという意向がありましたので、教科の配点等も含めて府立高校の前期選抜方針に準じて改定を行ないたいと考えております。

一つ懸念されることは、前期で分割募集されるため、7割程の生徒の進路が決まってしまう、後期選抜に臨む生徒が3割程度となってしまうことから、前期選抜から後期選抜のまでの約1カ月の間、授業運営が難しくなるのではないかと考えられます。

中野委員

今回の改定により、商業科、情報科については、学力検査及び調査書の配点がそれぞれ180点から150点、小論文が30点の配点となり、合計360点満点から330点満点となります。小論文については、これまで実施されていた学校の話をお聞きすると、中学生の記述力は低く得点あまり伸びず差がつかないといわれていますので、学力検査、調査書の配点が下がったことと合わせますと、かなり圧縮されたなかでの競争になると思います。このことから、25年度からの選抜結果について十分な分析、研究・検討を行なっていく必要があると思います。

川岸委員

小論文のお話に関連してですが、小学校で実施されている放課後学習や習熟度別学習について、算数が多いような気がするのですが、同じ算数の学習でも計算力ではなく文章問題を多く取り入れ、国語力を高めるものにしてはどうかと思います。

家庭において算数の計算は教えやすいのですが、国語については難しいように感じます。

永本教育長

表現力、記述力を高めていくことは大事なことであり、難しいことであると思います。現在の学習指導要領においても、あらゆる教科で国語力を駆使できるような指導をするようになっていきますので努力してまいります。

植田学校教育課長

以前に比べて朝の読書活動に取り組む学校が増えてきており、今まで読書に興味がなかった子どもたちも本に対する興味が高まっています。読書にふれる機会が増えることにより、話したり、文章での表現力を高めることに繋がればと思っています。

坂田委員長

他にないようですので、原案のとおり承認します。

その他で何かありませんか。これを持ちまして本日の定例教育委員会を閉会します。

閉会 午後3時35分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員